

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成21年1月16日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 7 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	2号機	復水ろ過装置入口流量コントローラ(A~L塔)において、アラームランプが点灯し、各塔の流量にバラツキが認められたため、原因を調査後、対応検討。	D	
2	2号機	原子炉隔離時冷却系の蒸気圧力において、指示値が正常にもかかわらず機器異常の警報が発生したため、原因を調査後、対応検討。	D	
3	2号機	主蒸気管(D)流量において、指示値が正常にもかかわらず、当該計器異常の警報が発生したことが認められたため、原因を調査後、対応検討。	C	
4	4号機	水質管理記録確認時、原子炉冷却材浄化系流量に誤記(126T/hが125T/h)が認められたため、当該誤記を訂正。	D	
5	4号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(C)電解鉄イオン供給隔離第一次弁において、シートリークが認められたため、当該弁を点検・補修。	D	
6	4号機	換気空調系コントロール建屋4号非常用電気品室冷水系(A)サージタンク液位調整弁において、シートリークが認められたため、当該弁を点検・補修。	D	
7	3,4号廃棄物処理設備	換気空調系廃棄物処理建屋制御室冷水ポンプ(B)点検において、ファンカップリング(軸嵌め合い部)に摩耗が認められたため、対応を検討。	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画外の原子炉の停止 ・ 発電所外への放射性物質の漏えい ・ 非常用炉心冷却系の作動 ・ 火災の発生 など
区分	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合 <ul style="list-style-type: none"> * 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障 * 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など ・ 原子炉への異物の混入 など
区分	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点から速やかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・ 原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・ 原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい ・ 圧力抑制室等への異物の混入 ・ 原子力発電設備に係る業務における人の障害 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常小修理 など

【原子力発電所における不適合事象の是正管理】

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

* 「不適合の定義」(JEAG4101-2000より)

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)

不適合管理グレード分け(不適合管理委員会にて決定)

- As : 法令、安全協定に基づく報告事象
- : プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
- : 定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた事象
- : 運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

(お問い合わせ)

福島第二原子力発電所・広報部・企画広報グループ

電話 0240-25-1353